

別 紙

山陽染工株式会社 本社工場 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

山陽染工株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

福山市一文字町6番1号

(3) 業種

1141 綿・スフ・麻織物機械染色業

(4) 事業所位置図

別紙（平面図）のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19(2007)年度を基準年度とする平成28(2016)年度から平成32(2020)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は、環境の保全を経営の重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献します。地球温暖化防止については、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2. 方針

- 1) 省エネルギー、省資源の推進
- 2) 新エネルギーの導入促進
- 3) 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- 4) 環境保全活動への積極的な参加
- 5) 社員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成19年度	直近年度 平成27年度
二酸化炭素	燃料の使用	17,413	9,530	7,096
	他人から供給された電気の使用	2,690	1,683	1,563
合 計		20,103	11,213	8,659

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素				
合 計				

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン				
一酸化二窒素				
HFC PFC SF ₆				
合 計				

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成19年度)	削減目標		目標年度 (平成32年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	11,213	13.0	1,463	9,750
非エネルギー起源CO ₂	0		0	0
メタン	0		0	0
一酸化二窒素	0		0	0
フロン類	0		0	0
温室効果ガス 実排出量総計	11,213	13.0	1,463	9,750
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は、排出量 年1%の削減率で策定			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算K1)							
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃焼効率の改善と蒸気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ型熱源機器への更新 ・温室効果ガスの排出の少ない燃料への転換 平成21年3月 実施 天然ガス焼き小型貫流ボイラー導入 (A重油焼きボイラー3基→1基) ・廃熱の有効活用 廃温水を利用した熱交換器設置…実施 ・操業方法の見直し
2	電気使用量の削減	電気の効率的な使用	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ型電気機器への更新 ・高効率照明器具への更新 ・冷暖房温度の適正管理 ・照明灯の点消灯の適正管理 ・用水使用量の節約 ・操業方法の見直し
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

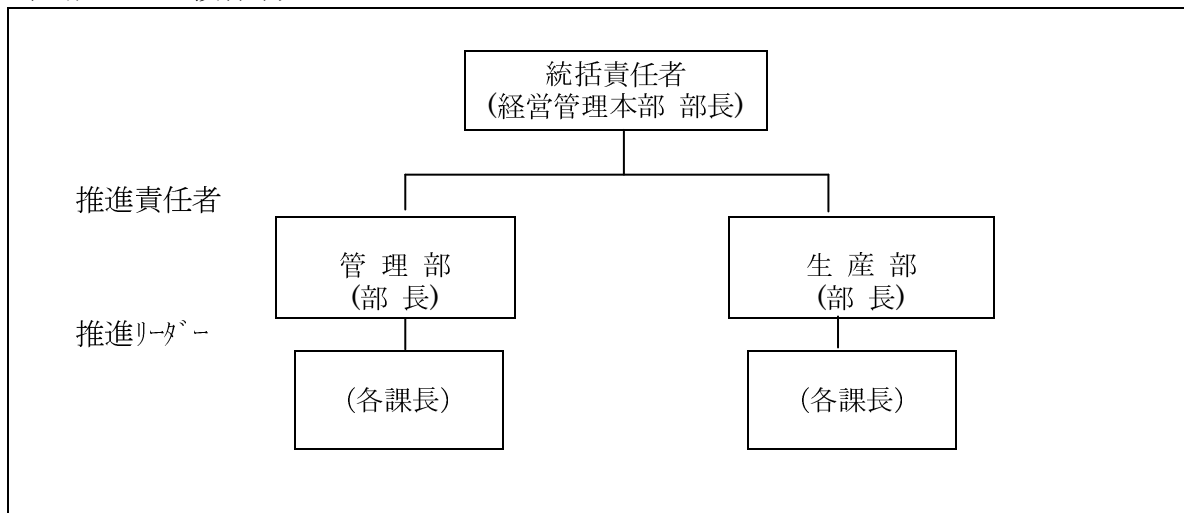
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の再資源化	回収率 100%	分別収集および資源化徹底 空缶・蛍光灯等⇒回収業者
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の確認・点検を行うとともに問題点を検討し、省エネルギー委員会において定期的に評価・見直し等を行い継続的な向上を図る。

また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

事務所への備付けによる閲覧